

ごみのない海にするために (自然回復への努力)

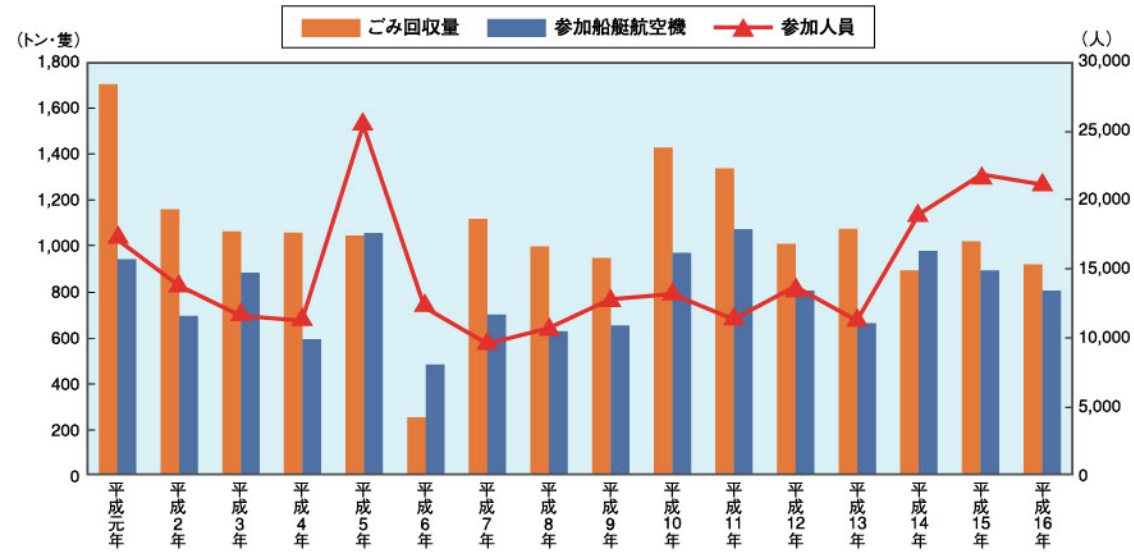
児童用副読本10~11p

学習のポイント

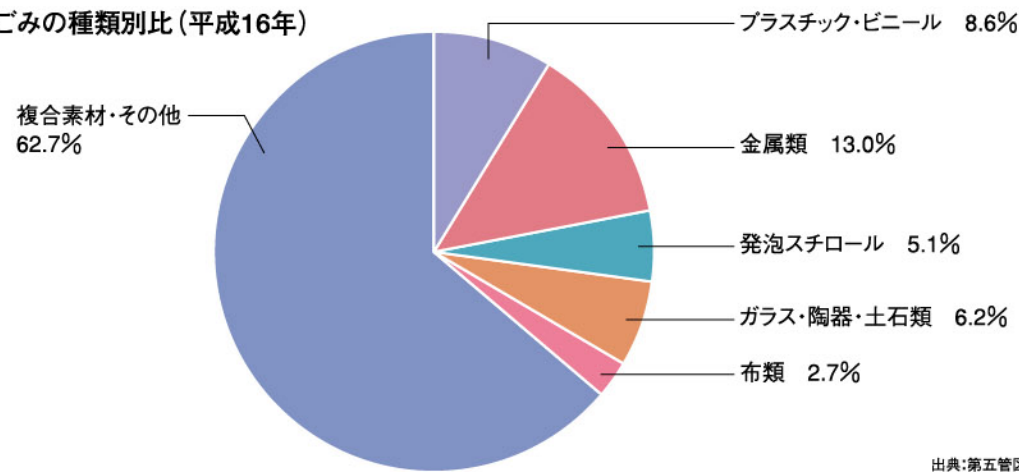
大阪湾クリーン作戦

昭和59年(1984年)から、毎年6月の環境月間に、第五管区海上保安本部をはじめ国土交通省近畿地方整備局など国の機関と大阪湾環境保全協議会の構成自治体、漁業協同組合連合会などに、環境団体、地域の人々などが協働して大阪湾の環境保全の啓発と河川、海岸、海域のごみを回収する「大阪湾クリーン作戦」を繰り返している。(http://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/参照)

大阪湾クリーン作戦実施状況の推移



ごみの種類別比 (平成16年)



出典:第五管区海上保安本部HP

海のごみはどこから来るのか、そして減らすには

道端に何気なく捨てられたごみや河川敷に投棄された廃棄物は、大雨が降った後などに川から海へと流れ込む。また、釣り人が放置した針や糸、海のそばで遊んだ人たちが捨てたり、置き去った飲み物の空き缶やペットボトル、菓子の空き箱、ビニール袋などが風に飛ばされ、海に運ばれる。

海にはいったごみは潮に流されて海を漂流するもの、波や風で海辺に打ち上げられるもののほか、海底に沈んでそのまま滞留するものなどがある。海底に沈んだごみは海底で生息している魚やエビ、カニなどの生息環境に悪影響を及ぼしている。

海や海辺のごみをなくすには、ごみ出しのマナーを守るとともに、外出先ではごみを「出さない」「捨てない」「持ち帰る」の基本的なルールを守ることが大切。



大阪湾の南端、友ヶ島水道に面した洲本市の成ヶ島や生石浜には大量のごみが漂着する

心ない釣り人によって海に放置された釣り糸にからまった鳥



漂流ごみを回収する海洋環境整備船